

# 稟 告

賣藥部外

醫學士稻生悌先生新方

衛生 特効

## きくら石鹼

定價壹個三付金拾錢

玲瓏瑩徹の肌膚と快活艶美の顔貌を見て人誰の之を願ふらむや誰の之を悦ばむや此石鹼  
 殊に文明日進の今日實際の煩繁を嘗りて其容貌の如何も亦社交の利害を關する所少しとせざるや  
 故に天然の美肌も寄生物の荒蕪も不任せ為る斑痕點皮膚印或蓬頭亂髮皮膚常不塵垢の充つ  
 何も為め不異臭と發するに至りて人誰の之を近づくを欲まらざるや然るに徒に其容貌を粉飾する  
 不汲々として漫ふ白粉を塗抹して其肌を雪ふ擬し其頸を白鷺に似せんとする如きは只無益な  
 るのみならず反て氣孔を填塞して皮膚天然の作用を妨礙し且中毒の災を罹ること屢是阿  
 り且又肌膚を艶麗ならしめんとて漫ふ粗惡の石鹼を用ゆる時其之を望晶ならしめんとす蓋し  
 初の希望却て皮膚を鬆疎ならしめ且其光澤を根却せしむる結果を來すを常とす蓋し  
 是皆之を用ゆるもの尤も非ずして其用料の粗惡有害なる由のみ然る則之を用ゆる健康小  
 害あり加之天然の光澤を以て益鮮麗ならしむる品料の存するは人生の幸福何ものか之過るん  
 や我が稻生先生茲不見る所は皮膚を濃くならしめ艶麗ならしめ健全ならしむる藥料の研究  
 に従事し精心單思するに久し今や大得る所を得以て我社計り之を石鹼不和して實用供  
 せんとす此の於て我社も亦先生の志を奉じ一志其鹼化と化學的變化を研究し之を實地試験  
 せし其効驗彰明較著して多年苦心の功も茲に漸く美果を結び遂に一の良好なる石鹼を得  
 多し因て之を名づけて衛生特効櫻石鹼といひ以て廣く江湖諸君子貴女各位の需  
 用に應せんとす幸ふ之を實地試験して其名の空しからざるを證せられんを祈す

**効能**  
 肌を濃くして色を白くし光澤を出しふきびのせも顔の荒きびを治す水むしりでもの  
 を治し常に此石鹼を用ゆる時皮膚を健全に一切の皮膚病を治し又外邪を消滅し

**用法**  
 通常石鹼の如く肌を荒す患ふ故に日數回用ゆるは妨げ又ふきび其他より顔の甚むる荒れたる  
 時に此石鹼を濃厚の液として塗抹去二時の後又二夜を経て洗ひ落すべし

製造發賣所

鈴木保五郎

芝區西久保巴町十六番地

3 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5